

## 前回（令和 6 年度）の「肺がん部会」の議論について

### 1. 報告事項

#### （1）肺がんの死亡・罹患状況

- ・全がん種のうち、肺がんの罹患は男性では 3 番目、女性は 4 番目に多い。  
また、肺がんの死亡は、男性では最も多く、女性では大腸がんについて 2 番目に多い。
- ・女性と比べると男性は全年齢を通して罹患も死亡も多い。
- ・がん種別の 75 歳未満年齢調整死亡率について、男性は肺がんが一番多く、女性は乳がん・大腸がんに次いで 3 番目に多い。全国と比較すると、男性は全国と同程度、女性は島根県の方が少ない。
- ・県全体の 2011 年～2015 年と 2016 年～2020 年の総合進展度比較を比べると、限局までの早期発見の割合が増えている。

#### （2）肺がん検診の実施状況等

- ・肺がん検診受診率は全国より低い。
- ・5 歳階級別に受診率を見ると、いずれの年代でも男性より女性の方が、受診率が高い。
- ・精密検査については、各市町村において受診状況がわからない方に確認を行うなど把握のための取り組みをしているが、一部の市町村では未把握率が高いという課題がある。
- ・集団検診のチェックリストの達成状況は全体的に改善している。個別検診は達成状況に変化なし。

### 3. その他

- ・検診の読影医の読影力向上のため、読影の講習会の実施について、今後部会でやり方を検討する。